

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
商	ショウ あきなう はかる								
教3 常①		甲骨 金文 睡虎地秦簡	説文・商部	馬王堆 曹全碑			皇甫騎墓誌 孔子廟堂碑	干祿字書	杜家立成
		甲骨	雨臺山	説文古文	馬王堆 曹全碑陰		弔比干墓文	五經・商部	風信帖
		甲骨	戦国楚竹簡	説文古文	新居延漢簡				
		殷・戌嗣子冊		説文籀文					
				説文・貝部					
唱	ショウ となえる うたう								
教4 常①			説文・口部		池陽令張君碑 智永千字文			豐宝子碑	王勃詩序
		殷・戊嗣子冊		説文籀文					
				説文・貝部					
唾	ダ タ つば								
常①			説文・口部	馬王堆				世説新書	五經・口部
				説文成体					

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
營	エイ いとなむ								杜家立成
營	②								
喚	カン よぶ さげぶ わめく								杜家立成
									大聖武
									瑠玉集
喜	キ よるこぶ								王勃詩序
									王勃詩序
									伝嵯峨天皇
喫	キツ くらのむ ずう								長安二乱山碑文
喬	キョウ たかい おごる								王勃詩序
									五経・天部

【營】説文解字の大徐本と段注本の字体が異なる。

【喜】説文解字の大徐本と段注本では古文の字体が異なる。

【喫】説文不録で大徐本に新附として追加された。中国での使用例がみつからない。中国では「喫」と「吃」が統合されている。

【喬】上部を「右」に作るのが通(用)字(体)。王勃詩序ではす

で「右」の筆順が変化している。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												營 中・台・香
								(營)				

